



アドボケート (advocate) とは、障害者の権利擁護のための支援・擁護・代弁する人の意味。この企画では、当事者が自ら、自分の言葉で、今の生活についての思いを発信します。

世界ダウン症の日キックオフイベント 2019 本人発表 ① 「働くことができる喜び」

JDS 湘南支部ミニこやぎの会 香川 真穂

みなさん、こんにちは。湘南支部 ミニこやぎの会の 香川真穂です。

私はマクドナルド藤沢本町店のクルーとして働いています。主な仕事はハンバーガーやサイドメニューを作ったり、洗い物や掃除をしています。

私は平成26年に茅ヶ崎養護学校高等部を卒業し、社会福祉法人・光友会 ライフ湘南へ入りました。喫茶部の仕事をしながら、週一回、就労移行支援の勉強会を受けました。

その年の秋に藤沢市の企業合同面接会を受けてみよう、ということになりました。クリーニングの会社と、お寿司屋さん、マクドナルドの3社を受けました。どこからも、採用はありませんでした。不思議とがっかりする気持ちはなく、逆にまた頑張ろう、とヤル気がでてきました。

それから一年間はライフ湘南で喫茶の仕事をしながら、就労移行の勉強をしました。どうしてもマクドナルドで働きたいと思ったので、履歴書の書き方を教わったり、面接の練習をしてもらったりして、2度目の合同面接会にのぞきました。

マクドナルドの面接官は私のことを覚えていてくれて、いろいろな話をしました。それからしばらくして、マクドナルドから採用の知らせが届いた時は、本当に嬉しかったです。あきらめずにチャレンジして、良かった！と思いました。重いものを持ったり、洗い物で手荒れしたり、大変なこともあります。マックで働くことができ、毎日楽しいです。以上で私の話を終わります。聴いていただき、ありがとうございました。



ステージで発表する香川さん

キックオフイベントに参加した感想

本人より

最高に良い思い出に

『本人発表』では、舞台上でマクドナルドに就職したお話をしたり、インタビューに招待されてお仕事に関するお話の中で、質問されたことに対して答えました。難しいお話もありましたが、とても楽しくて、嬉しかったです。笠井アナウンサーと二人で写真を撮れたので、興奮気味でしたが、最高に良い思い出になりました。(香川 真穂)

母より

堂々と発表する娘の姿に感動

本人発表の原稿を作るにあたって、就労が決まる前後のことを思い出しながら、ああだった、こうだったと二人でたくさん話をしました。まずそれが楽しかったです。自分の就労までを振り返る、よい機会になったと思います。今回ひとりでステージに立ち堂々と発表する娘の姿に、ひそかに感動しつつ、一観客として華やかなステージを楽しみました。おかげさまで思い出深い一日となりました。ありがとうございました。(香川 菜穂子)

※これまで会報に掲載してきたこのコーナーの記事を JDS のホームページですべてご覧いただけます。
トップページ上段「ダウン症のあるお子さんを授かったご家族へ」⇒「主張するセルフ・アドボケートたち」